



尾久八幡

令和6年度 10月号
令和6年10月2日発行
荒川区立尾久八幡中学校
校長 稲葉 裕之

選手団みんなでつかんだ、総合4位!

荒川区立中学校連合体育大会 9月20日(金)

9月20日(金)、荒川区中学校連合体育大会が江戸川区陸上競技場を会場に開催されました。

本大会は長年にわたり、区立中学校の全生徒が選手・応援団として、国立競技場を会場に一同に会する形で行われてきました。その後、国立競技場建替を期に平成26年度からは会場を変更、コロナ禍による2年間の実施見送りを挟みながら開催されてきました。この間、開催方式・競技方法が見直され、参加生徒は会場規模の関係等により、現在は選手・係生徒のみの参加、トラック競技は予選を行わないタイムレース方式となっています。

選手はここまで、一人一人が目標をもち、学年を越えて共に励まし合いながら、練習を重ねてきました。その結果、総合得点で4位という、好成績を修めることができました。これは、選手誰もが本校の代表として誇りをもって大会に参加、それぞれが自分のベストを尽くしてくれた結果だと思えます。選手の皆さん、よくがんばってくれました。お疲れ様でした。



— 入賞者紹介 —

男子

1年男子 100M	第5位	13"26
3年男子 100M	第6位	12"96
共通男子 200M	第2位	24"43
共通男子 400M	第2位	58"73
1年男子 1500M	第2位	4'57"74
2・3年男子1500M	第5位	4'54"28
2・3年男子3000M	第6位	11'22"87

共通男子走高跳	第4位	1m45
1・2年男子走幅跳	第6位	4m99
3年男子走幅跳	第2位	6m02
1年男子4×100MR	第1位	50”48 大会新記録
2年男子4×100MR	第4位	50”02
3年男子4×100MR	第3位	47”73

女子

1年女子 100M	第2位	14”33
2年女子 100M	第2位	14”13
1年女子 800M	第1位	2’42”30
2・3年女子800M	第5位	2’53”47
共通女子1500M	第5位	6’09”40
共通女子走高跳	第3位	1m24
1・2年女子走幅跳	第6位	4m21
1年女子4×100MR	第4位	57”54
2年女子4×100MR	第2位	55”63

連体用ユニフォームのご寄付、ありがとうございました。

昨年度、本校は創立60周年を迎えました。様々な記念行事等が行われ、10月28日には式典・祝賀会が開催されました。その際、周年実行委員会から運動会生徒席用のテントをご寄付いただきました。おかげさまで、今年の運動会では強い日差しを避けることができ、生徒たちは存分に運動会に取り組むことができました。実は、もう一つご寄付いただいたものがあります。それは、連合体育大会用のユニフォームです。

連体用ユニフォームは、これまで使用してきた旧来のものがあるのですが、数量がサイズによっては十分になく、追加で購入しようにも同モデルは既に廃番となっているため、補充等ができない状況になっていました。そうしたこともあり、このたび周年実行委員会から、連体用ユニフォームを新たに揃えていただけることになりました。ただし、実施種目・出場選手・人数等、ある程度、本年度の状況に合わせて発注する関係から、昨年度は予算としていただき、本年度になってから執行させていただきました。



連体当日は、本校の生徒たちが真新しいユニフォームで参加、そのおかげもあって優秀な成績を修めることができました。周年関係者の皆様には、この場をお借りして感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

物事への取り組み方など、たくさんのアドバイスをいただきました。

オリンピック 中京大学 青戸慎司さん 講演会 9月13日(金)

本校では、学校経営方針の柱のひとつに「自ら学ぶ ～ この先、学んでいく基礎をつくる ～」を掲げ、学力の定着・向上とともに、学び方を身につけることも大切にしています。このたびは、元オリンピック日本代表の青戸慎司さんにお出でいただき、学び方を含めた、物事に取り組む姿勢・取り組み方という視点で、9月13日(金)講演会を行いました。



青戸先生は、スポーツ選手としての数々の実績を残され、現在は中京大学で教鞭を執りながら、同大学の陸上競技部副部長として学生選手を育成しておられます。このたびのパリ・オリンピックに際しては、日本代表選手の指導にも当たられている方です。講演では、ご自身が学生時代は記録・タイトルを得ることが少なかった経験を例にしながら、自分から取り組むことの意義や、継続することの大切さなど、様々なアドバイスをお話いただきました。

- ・「自分の強み」を生かす(自分の強み＝自分があまり努力せずにできるようなこと)
- ・「やられている」と感じてやっているうちは伸びない。「自分からやっている」という意識で取り組む。
- ・「自から学ぶ」姿勢のためには、“受動→能動に”“自立→自律に”することが大切
- ・人は“ネガティブ”に反応しやすい。だから、ネガティブな言葉を使わず、ポジティブな言葉を。
- ・思っているだけじゃだめ。とりあえずやってみる、始めてみる。
- ・簡単なことでいい、それを続けることが大切。(66日間の法則?)

どれも、学習に限らず、物事に取り組むときに大切な姿勢や考え方で、中学生にも必要なことを分かりやすくお話いただきました。



その後、区連合体育大会を翌週に控えた本校代表選手向けに練習会を開催、走り方のフォームづくり、ランニングステップのドリル練習、バトンパス練習などをコーチングしていただきました。日頃から大学生選手にご指導をされており、説明は理論的でありながらわかりやすく、本校の選手の動きにも改善がみられ、最後には、選手団に励ましの言葉もいただきました。お忙しいなか、お越しいただき、ありがとうございました。

青戸慎司 先生 プロフィール

100m の元日本記録保持者。ソウル、バルセロナ両オリンピックに陸上短距離代表として出場、4×100 リレーでは 60 年ぶりに 6 位入賞を果たした。

長野冬季五輪のボブスレー代表にも選ばれ、日本人男子初の夏冬オリンピック出場選手となった。

その後、公益財団法人日本オリンピック委員会強化スタッフ、公益財団法人日本陸上競技連盟強化委員などを務め、現在、中京大学陸上競技部副部長、中京大学スポーツ科学部非常勤講師

地域・町会の皆様に、感謝を込めて演奏しました。

「みやもと サンデー コンサート」 吹奏楽部 演奏 9月1日(日)

生本校では、社会貢献活動・地域奉仕活動を通じて、地域とのつながりを大切にしています。今年も、本校のある西尾久三丁目宮元町会からお声かけいただき、吹奏楽部が町会主催「みやもと サンデー コンサート」で演奏させていただきました。宮元町会には、八幡神社祭礼の折に御神輿に参加させていただくなど日頃よりご協力いただいております、この夏、吹奏楽部が東京都中学生吹奏楽コンクール「東日本部門」で金賞受賞に際しても、小台橋みずき通り商店街・尾久宮元八千代会との連名で記念横断幕を制作させていただきました。



9月1日(日)、本校武道場を会場に、地域・町会の方々のお集まりのなか、コンサートが行われました。地域楽団 グリーンパーク・トリオ の方々の演奏の後、コンクール金賞受賞曲「秘儀IX<アスラ>」と「負けないで」「学園天国」の3曲を、横断幕等日頃のご支援への感謝の気持ちを込めて演奏させていただきました。その後、グリーンパーク・トリオの方々といっしょに「銀河鉄道999」「マツケンサンバII」を演奏しました。

これからも、こうした地域とのつながりを大切にしていきたいと思ひます。